

# ピレリスーパー耐久シリーズ 2020 Round. 5

## odula AVANTECH ROADTER レースレポート

開催地:オートポリス(大分県)

◇12月12日(土曜日)天候:晴れ 路面:ドライ

公式予選/1位

◇12月13日(日曜日)天候:晴れ 路面:ドライ

決勝/1位 (129Laps)

### 予選

遂に2020年度も残るところ2レースとなりました。今回はロードスターの得意なコース、オートポリスになります。練習走行ではモテギからのセット変更にと少々苦戦しましたが、多方面からのアドバイスによりアジャストし予選に臨むことが出来ました。

練習走行からコースレコードに迫るタイムが出ていた為、予選ではコースレコードの奪取を目論んでいました。実はレース使用タイヤがYOKOHAMAからPIRELLIに変更があったから一度もST5クラスではレコードの更新がありません。その為いつも以上に気合を入れて予選に臨みました。

予選では、一周目からまたフルプッシュでアタックをかけタイムを出しに行こうと思ていましたが、いつもと違いピークグリップがあった為、そこを感じ取りタイヤのおいしい部分を上手く使いながらアタックをかけました。しかし、私のクリアラップの調整が中途半端になってしまい、途中車両にひっかかりコンマ5秒以上ロスをしてしまいました。何とかその他の区間をまとめクラストップタイム&コースレコードを獲得することが出来ました。

### 決勝

今回の決勝でも、前回に引き続きスタートドライバーとチェッカードライバーを担当することとなりました。同じように序盤で10秒前後のアドバンテージを築くのが最初のステイントでの仕事となり、まずはスタートからハイペースでレースラップを重ねます。オートポリスは前回のツインリンクもてぎと比べ複雑なコーナーが連続し、他クラスの車両に抜いてもらうとき、抜かせ方を誤るとタイムが大幅に落ちるサーキットとなっております。その為、一番遅い車が一番速い車をコントロール下に置く必要があります。僕自身、他クラスの動きをかなり気にしながら走行し、後続とのギャップを開いていきました。1stステイントでは順調に周回を重ね1時間に差し迫るあたりでBドライバーの勝

木選手へバトンタッチ、タイヤカス等のピックアップが多くなりつつある路面や他クラスの動きに翻弄されつつも無事に接触なくラップ数を稼ぎます。ライバルチームではエースドライバーがハイペースで周回する中、時折それらを上回るラップを出しながら無事ステイントを終えCドライバーの小原選手へバトンを繋ぎます。小原選手のステイントでは更にピックアップが酷く、タイヤも一番厳しい状況でのステイントとなりました。その中でもアウトラップから順調にラップを重ね、コンディションの厳しい中安定したラップを重ねステイントを走破していきます。

そして最後のドライバーチェンジ、小原選手から僕へバトンを渡されます。順位は一時的に中盤近くまで落ち込みましたが、まだまだ挽回できるポジション、残り1時間強は全開で行くしかありませんでした。後半ステイントも順調にハイペースで周回し順位もぐんぐんと上げ

## SPONSORS



滝川眼科



ていたところトップ 3 付近を走行していた数台に車両トラブルが発生し、緊急ピットインする車両が出てきました。これにより更に順位を上げることに成功しましたが、1 つ問題が発生しました。それは、同チームでメンテナンスしている 66 号車にハブトラブルが発生したのです。もちろん 456 号車も同じハブを使用しているため同様のトラブルが出る可能性があります。既に左側のハブからは、トラブルが出る兆候のバイブレーションが発生していました。その為、後方からある程度ギャップを気付いていた所でペースダウンし車体の保護に徹します。無線で後続とのギャップを確認しながらペースコントロールを行い、ハブを労わりながら周回を重ねます。後続車もハイペースで追って来ていましたが、何とかギャップを守り切りトップでチェッカーを受けることが出来ました。

今回のレースでシリーズランキングは 2 位へ浮上いたしました。次戦は最終戦、鈴鹿サーキットとなります。トップとの差は約 11.5 ポイントとなり最終戦もポールトゥウインはマストとなります。次戦もフルスロットルで頑張りますので応援よろしくお願いたします。



#### ■Next Race■

開催日:2021.1.23(土)

開催地:鈴鹿サーキット(三重県)

全長 : 5,807m

ストレート長 : メインストレート約 800m  
西ストレート約 1000m

コーナー数 : 18

コース幅 : 10~16m

レース時間:5 時間

